

# 佐渡ジオパーク再認定審査2019報告

審査日 令和元年10月4日（金）～6日（日）  
 見学地 下記行程のとおり  
 審査員 宮原育子（JGC）、柴田伊廣（日本GP支援委員会）、臼井里佳（伊豆大島GP）

【10月4日（金）】

No.	到着時間	出発時間	駅名・施設名	備考	公開	対応課題等
2-1		7:10	新潟駅	連絡バス	—	
2-2	7:25	7:55	新潟港	ジェットfoil		
2-2'	9:00	9:05	両津港	合流		
2-3	9:10	11:20	両津港	南埠頭ビル等視察 拠点施設視察(旧ライブラリー含)	○	「視察性向上」「観光導線」 ・両津港視察(徒歩移動) 下船口～両津観光案内所～ジオパーク情報コーナー～佐渡島開発総合センター ・山田久志(吉田家代表取締役社長) ・佐々木史郎(広報部会長) ・野田 悟(佐渡汽船株式会社) ※大きな荷物は公用車へ乗せる
2-4	11:30	12:30	カフェすみよし	昼食	—	「専門的すぎる看板、刊行物」(北見)
2-5	12:45	14:45	佐渡島開発総合センター 2階 会議室	行程確認ほか 自己評価表確認	×	
2-6	15:00	17:00	佐渡島開発総合センター 2階 会議室		○	「観光導線」「拠点施設」 ・佐藤春夫(観光機構アドバイザー) ・ジオ学習を含む教育旅行関連 加藤 透(事業部会長) ・観光コース等 ・渡邊一哉(佐渡市観光振興課) ・観光コース等 ・池 善世(佐渡ジオパークガイド協会会長):観光コース等
—			自己評価表?			×
2-7	17:30		たびのホテル宿泊			—

【10月5日（土）】

No.	到着時間	出発時間	駅名・施設名	備考	公開	対応課題等
3-1		8:30	たびのホテル 発		—	
3-2	9:15	10:45	尖閣湾揚島遊園	・施設概要説明(40分程度) ・関係者ヒヤリング(40分程度)	○	「観光導線」「協議会活性化」 ・斎藤泰義取締役、田村平人課長 ・教育旅行、観光導線等
3-3	11:00	12:10	きらりうむ佐渡	施設概要説明		「拠点施設」
3-4	12:15	13:00	相川支所災害対策室1	昼食 トキの里山弁当	—	「保護・保全」(相田)
3-5	13:00	14:40	相川支所災害対策室1	関係者ヒヤリング	○	「3つの取り組み」「拠点施設」 ・宇佐美 亮(世界遺産推進課) ・宇治美徳(農業政策課) ・拠点施設、3つの取り組み
3-6	14:45	15:00	第3駐車場～第5駐車場	活用例示		
3-7	15:00	16:15	相川金銀山	・施設概要説明(30分程度) ・関係者ヒヤリング(40分程度) ・宮原先生インタビュー(仮)		「協議会活性化」「餐み相談」 ・浦野成昭取締役、七種謙一支配人 ・ガイド育成協力など ・市橋(ジオパーク推進室) ・岩石販売とジオ連携の現状
3-8	16:30	17:30	ホテル吾妻	審査員打合せ	×	別室あり
3-9		18:00	ホテル吾妻(懇親会)			—

【10月6日（日）】

No.	到着時間	出発時間	駅名・施設名	備考	公開	対応課題等
4-1		8:30	ホテル吾妻 発		—	
4-2	8:50	10:00	佐渡博物館	施設概要説明(20分程度) 関係者ヒヤリング(40分程度)	○	「拠点施設」 ・高藤一郎平(佐渡学センター推進指導員) ・井野端圭介(佐渡学センター学芸員) ・拠点施設位置付け ・展示ストーリー
4-3	10:30	11:30	ジオガイド案内	両津コース	○	ガイド協会によるコース紹介
4-4	11:45	12:15	第3会議室(ジオ脳)	昼食(とうみ弁当)	—	「サイト設定」「ストーリー」(真包)
4-5	12:30	13:00	両津公民館 第1学習室	会長ヒヤリング	×	
4-6	13:00	14:30	両津公民館 第1学習室	事務局ヒヤリング(自己評価表)		
4-7	14:30	15:00	両津公民館 第2学習室	審査員打ち合わせ		
4-8	15:00	16:00	両津公民館 第1学習室 ※記者、一般人控室:ジオ協会議室	講評(全体意見交換)		
4-9	16:00	16:30	両津公民館 第1学習室	記者会見・取材	○	
4-10	17:00	17:35	両津港		—	お見送り ※関係者、ガイドへ呼びかけ
4-11	18:40	18:50	新潟港			
4-12	19:05	19:36	新潟駅			
4-13	21:52		東京駅	※臼井さん後泊		



両津港内佐渡ジオパーク情報コーナー



佐渡島離島開発総合センター2階ロビー



尖閣湾揚島遊園職員による説明



きらりうむ佐渡視察



3つの取組に関する関係者ヒヤリング



(株) ゴールデン佐渡 視察





佐渡博物館視察



ジオパークガイドによる両津港周辺案内



協議会運営委員との意見交換会



記者会見の様子



みんなで審査員をお見送り



審査員を乗せた車が見えなくなるまでお見送り

# 佐渡ジオパーク再認定審査2019 審査員講評

## <3日間を通してのコメント>

- ・ 前回の指摘事項は全部で9項目。2年間でどのくらい変わったのか？を注視した。
- ・ 両津港を見て、ジオパークの入口に入ったという印象を多く持った。視認性が上がった。
- ・ 尖閣湾や金銀山は一級品のジオサイトだが、これまで関りが薄かった。今後、連携が必要。
- ・ 島であることはジオパークにとって強みになる。
- ・ 伊豆大島も流人の歴史がある。誰もが知る歴史上の人物が流されたことは、誰にでも通じ、とっかかりやすいと思う。
- ・ 金銀山や尖閣湾など、事務局が新しいエリアに丁寧なコミュニケーションを取ろうとしている努力が伝わった。事務局だけでは大変なので、委員のみなさんに直接的・間接的な支援をお願いしたい。
- ・ 地質、地形、多様な文化、自然がある島。これまで別々の素材として表現されていたが、有機的に見せることができる素材であることを審査で実感した。
- ・ 事業部会ではジオの良さや主旨を理解し、伸ばしていけるような取り組みを行っている。一番苦労している点は、ツーリズムに展開していく際、地元の人々やいろいろな人につながる部分があること。
- ・ 3日間島内の様々な個所を巡ったが、ジオパークだなという看板にはあまり出会わなかった。観光課が整備した大きな看板がある。既存看板にロゴやQRを貼って、そこからHPへ飛ばすということもできる。
- ・ 佐渡博物館と旧市町村ごとの博物館資料館がある。そういったところもサブ拠点にできると良い。建物の入り口などにロゴやQRを付け、ここがジオパークの拠点であることを示す。短時間でできることは整備に取り組んでほしい。
- ・ 尖閣湾や金銀山は好意的。手を組むことで地域の可能性が広がると思っている。手を組みながら進めることは良いことだと思う。
- ・ 他部署と連携できることは何か？そういったことも模索しながら進めてほしい。
- ・ 前回の再審査後、佐渡ジオパークに関わる人が増えている。さらにすそ野が広がると良い。
- ・ たくさんのキーパーソンがいることを実感した。佐渡は宝物がたくさんある島。豊かな資源とともに売り出してほしい。
- ・ 2年間、関係者が真剣に指摘事項に関して真摯に取り組んできたことがよくわかった。3つの大きな宝が佐渡の大きな資源として対外的にアピールできると思う。ジオパークのベースは佐渡の大地と、その上に生きる動植物、人、佐渡の世界をいろんな方にジオパークを通して伝えていくことが重要。佐渡らしいユニークなジオパークになりつつあると感じた。

## <今後のスケジュール>

12月はじめ	現地審査報告書 提出〆切（審査員執筆）
12月13日（金）	日本ジオパーク委員会 調査運営部会開催
12月25日（水）	再審査結果報告（電話連絡）
翌年1月頃	再審査結果通知（文書）